

| | | | | | |
|----------|---|------|-----|-------|---------|
| 授業科目 | 作業療法総合演習 I | | | | |
| 担当者 | 辻 郁, 足立 一, 井口 知也, 掛川 泰朗, 林部 美紀, 山田 隆人, 吉田 文 (すべて実務経験者) | | | | (オムニバス) |
| 実務経験者の概要 | 辻) 作業療法士免許取得後, 医療機関, 保健行政で作業療法を実践してきた. 特に保健行政では, 身体障害, 老年期障害, 精神障害, 発達障害, 一般住民など多様な方々への作業療法を行ってきた | | | | |
| 学科名 | 作業療法学専攻 | 学 年 | 1 年 | 総単位数 | 1 単位 |
| | | 開講時期 | 通年 | 選択・必修 | 必修 |

■ 内 容

相互関係学習システムを用いて, 学年を越えてグループで課題に取り組むことでコミュニケーションネットワークを経験し, 同時にリーダーシップ力を修得する.

特に本科目では, 積極的かつ主体的な学生生活を送り, 学生間での情報交換・交流を図ることで本専攻の独自の自己啓発活動を学ぶ

■ 到達目標

- ① リーダーシップに必要な知識と技術を一部修得できている
- ② 学年を越えた学生間の情報交換・交流が出来ている
- ③ 積極的・主体的な学生生活を送っている

■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション グループ分け
- 第2回 作業療法専攻紹介媒体作成 計画
- 第3回 作業療法専攻紹介媒体作成
- 第4回 作業療法専攻紹介媒体作成
- 第5回 作業療法専攻紹介媒体相互フィードバック
- 第6回 地域の施策を知ろう 1
- 第7回 地域の施策を知ろう 2
- 第8回 健康増進に向けた作業療法プログラムを作成しよう 作成計画
- 第9回 健康増進に向けた作業療法プログラムを作成しよう
- 第10回 健康増進に向けた作業療法プログラムを作成しよう
- 第11回 プログラム相互評価
- 第12回 グループ別学習会 1
- 第13回 グループ別学習会 2
- 第14回 一斉試験
- 第15回 試験見直し

■ 評価方法

毎回提出されるレポート 100%、公欠以外の欠席は1回につき5点減点

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

時間内に達成できなかった内容を完成させる
指摘された重要事項を復習する
次回の課題遂行に必要な情報を収集し, 資料等の準備を行う

■ 教科書

書 名：不要

■ 参考図書

■ 留意事項

学年を越えたグループ学習であることを念頭に置き、チームビルディング 授業時間外の学習は設定してあるが、可能な限り時間内に達成させ、課題が生じる場合は、具体的な課題内容と達成時期を明確にしておく

■ 講義受講にあたって

各回の授業で何をするのかを十分把握した上で物品や設備、テキストなど十分な準備をすること